

## 施策名：地域で共に支え合うまちづくり

事業名	担当課・室名	ページ
地域生活定着支援事業	地域福祉推進室	2 / 9
生活困窮者支援体制構築事業	地域福祉推進室	3 / 9
福祉・介護人材確保対策事業	地域福祉推進室	4 / 9
福祉ボランティア活動活性化事業	地域福祉推進室	5 / 9
福祉ボランティア・市民活動推進事業	地域福祉推進室	6 / 9
ユニバーサルデザイン推進事業	地域福祉推進室	7 / 9
高齢者・子育て世帯リフォーム支援事業	建築住宅課	8 / 9
(公)県営住宅整備事業	公営住宅室	9 / 9

事業名	地域生活定着支援事業		事業期間	平成 22 年度～平成 年度	政策区分	地域の底力の向上 ～助け合い、支え合いにより豊かな地域生活の実現～
					施策区分	地域で共に支え合うまちづくり
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	地域福祉推進室	評価者	地域福祉推進室長 大戸 英輔

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	65歳以上の刑務所再入所率が、65歳未満のそれと比較して高いことや、刑務所入所中の知的障がい者又は知的障がい疑われる者のうち犯罪の動機が「困窮、生活苦」であった者が36.8%となっていることから、刑務所出所後、円滑に福祉サービスへつなぐための仕組みの構築が課題となっている。	事業の目的	福祉的な支援を必要とする刑務所等出所予定の高齢者や障がい者等の社会復帰を支援。
-------	---	-------	---

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)	
コーディネート業務	対象者の必要なサービス内容、問題点を把握したうえで福祉サービス等に係る申請の事前準備や受け入れ施設の確保調整(20件) 委託先：恩賜財団済生会支部大分県済生会 受け入れた施設等に対して、処遇等に関する助言(36件) 委託先：恩賜財団済生会支部大分県済生会 本人、家族、更正保護施設等関係者からの相談に対する助言等(76件) 委託先：恩賜財団済生会支部大分県済生会	・社会福祉法人恩賜財団済生会支部大分県済生会に委託して実施(H22～)	総コスト	21,334	26,971	26,983	
フォローアップ業務			事業費	19,334	24,971	24,983	
相談支援業務			(うち一般財源)				
			人件費	2,000	2,000	2,000	
		職員数(人)	0.20	0.20	0.20		

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	実績値	65	60					
	達成率	180.6%	166.7%					
	行政担当者のカンファレンス参加回数(回)	目標値		6	6			
		実績値		7				
		達成率		116.7%				

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	実績値	100.0	100.0					
	達成率	100.0%	100.0%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針				
<ul style="list-style-type: none"> <li>受入体制の構築を図るため、福祉施設等に対して普及啓発活動を行い、刑務所出所者への理解を促進</li> </ul>				

事業名	生活困窮者支援体制構築事業		事業期間	平成 25 年度～平成 26 年度		政策区分	地域の底力の向上 ～助け合い、支え合いにより豊かな地域生活の実現～
						施策区分	地域で共に支え合うまちづくり
総合評価	<b>C</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	地域福祉推進室		評価者	地域福祉推進室長 大戸 英輔

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	稼働年齢層を含む生活保護受給者や、生活困窮に至るリスクの高い層の増加を受け、生活保護に至る前の自立支援の強化と、生活保護から脱却した人が再び生活保護に頼ることのないようにするための脱却後の支援の強化が必要	事業の目的	生活困窮者自立支援法の平成27年4月1日施行を踏まえ、生活困窮者支援体制を構築する。
-------	--	-------	--

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
生活困窮者支援体制検討協議会	市町村等関係機関による課題検討、情報共有 (4回)	・全国担当者会議の伝達会議と同時開催	総コスト	9,896	144,349	42,541
生活困窮者を支援するモデル事業実施市への助成	モデル事業を実施する市への助成 (8市)	・民生委員や協力員と連携した訪問支援の実施	事業費	4,896	134,349	27,541
日出町におけるモデル事業の実施 (町村部は県が実施主体)	相談員3名を配置し自立相談支援等を実施 (121件) 委託先：日出町社会福祉協議会		(うち一般財源)			7,728
			人件費	5,000	10,000	15,000
			職員数 (人)	0.50	1.00	1.50

活動指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
	体制検討協議会開催回数 (回)	目標値			3	4			
実績値			2	4					
達成率				133.3%					
モデル事業実施自治体数 (市町村)		目標値			7				
		実績値			9				
		達成率			128.6%				

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
	自立相談支援件数 (件)	目標値			160	160		
実績値			80	121				
達成率				75.6%				

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・法施行により全市町村に相談窓口が設置されたことに伴い、今後は各市・県等により構成する検討会議を通じ全体の平準化・底上げを図り、県民誰もがどこでも支援を受けることができる体制を構築
- ・生活に困窮する可能性のある県民に対する早期的、包括的支援に向けた人材育成の実施
- ・民生委員・児童委員等の地域住民と連携した支援体制の構築  
(27年度事業名：生活困窮者自立支援事業)

事業名	福祉・介護人材確保対策事業	事業期間	平成 21 年度～平成 年度		政策区分	地域の底力の向上 ～助け合い、支え合いにより豊かな地域生活の実現～
					施策区分	地域で共に支え合うまちづくり
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	地域福祉推進室	評価者	地域福祉推進室長 大戸 英輔

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	少子・高齢化が進展する中、福祉・介護サービス従事者の不足と、提供サービスの質の低下が懸念される。	事業の目的	福祉・介護職場の人材の確保と定着率の向上。
-------	--	-------	-----------------------

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
職場体験事業	職場体験研修を実施(体験者177人) (委：大分県社会福祉協議会)	・職場体験事業、福祉介護人材マッチング機能強化事業及び複数事業所連携事業コーディネータ業務は福祉人材センターを運営する(社福)大分県社会福祉協議会に委託 ・潜在有資格者等再就業支援研修は職能団体等への補助により実施	総コスト	33,755	34,228	28,036
潜在的有資格者等再就業支援研修	潜在的有資格者等に対して福祉・介護分野での就労に向けた研修を実施(参加者725人)		事業費	29,755	30,228	24,036
福祉・介護人材マッチング機能強化事業	キャリア支援専門員を設置し、ハローワークへの出張相談や就職フェア等を開催(5回) (委：大分県社会福祉協議会)		(うち一般財源)			
複数事業所連携事業	事業所が連携して求人活動や研修を実施(研修会41回、参加者1,067人) (委：大分県社会福祉協議会)		人件費	4,000	4,000	4,000
			職員数(人)	0.40	0.40	0.40

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	実績値	355	400					
	達成率	88.8%	100.0%					
就職フェア開催回数(回)	目標値	5	5	5				
	実績値	5	5					
	達成率	100.0%	100.0%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	実績値	14,678	15,893					
	達成率	101.9%	103.2%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針				
・キャリア支援専門員を活用した事業の周知、関係機関の実務担当者間の連携の強化による、オール大分で介護人材の確保に取り組む体制の構築				

事業名	福祉ボランティア活動活性化事業		事業期間	昭和 56 年度～平成 27 年度		政策区分	地域の底力の向上 ～助け合い、支え合いにより豊かな地域生活の実現～
						施策区分	地域で共に支え合うまちづくり
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	地域福祉推進室		評価者	地域福祉推進室長 大戸 英輔

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	少子・高齢化の進展や価値観の多様化等により、福祉に関するニーズが多様化する中、地域住民をはじめボランティアやNPOなど、支え合う地域社会を担う多様な主体が不足している。	事業の目的	ボランティアコーディネーターやボランティアの育成とともに、広報誌等による啓発・普及により、ボランティア活動の拡大と活性化を図る。
-------	--	-------	--

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
ボランティアセンター運営費補助	広報誌「ぼらのたね」発行(700部) ボランティアグループ名簿の作成(250部) ボランティアコーディネーター研修(32名) 市町村社会福祉協議会ボランティア担当者研修(22名) 住民参加型在宅福祉サービス研修会(28名)	・民間団体等による運営委員会を設置し、情報共有と連携強化を推進 ・「ボランティアセンター」と「おおいたボランティア・NPOセンター」の窓口の一本化 ・ホームページによる事業募集、広報など各種情報の提供	総コスト	16,673	17,045	17,043
			事業費	14,673	15,045	15,043
			(うち一般財源)			3,127
			人件費	2,000	2,000	2,000
			職員数(人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	ボランティアコーディネーター研修会参加者数(人)	目標値	36	36	36	36	<b>a</b>	・市町村社会福祉協議会をはじめ、ボランティア団体、NPO法人等の連携強化 ・ボランティアコーディネーターの養成を推進し、ボランティア活動のマッチング機能の向上	
		実績値	35	32					
		達成率	97.2%	88.9%					
	市町村社協ボランティア担当者研修会参加者数(人)	目標値	18	18	18	18			
		実績値	20	22					
		達成率	111.1%	122.2%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	ボランティアセンターで把握するボランティア数(人)	目標値	39,800	40,300	40,800	40,800	<b>a</b>	市町村社会福祉協議会等のボランティア担当者を対象に研修会を実施し、また広報誌、ボランティア団体名簿を作成し、ボランティア活動の啓発普及を図るとともに、ボランティア活動のマッチングを推進した。	
		実績値	39,598	41,168					
		達成率	99.5%	102.2%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・多様化する福祉、地域ニーズ等の中、支え合う地域社会づくりを担うボランティア団体等を育成・強化
- ・市町村社会福祉協議会やボランティア団体、NPO法人等との連携を密にし、コーディネーターの養成とともに、マッチング機能の強化を推進

事業名	福祉ボランティア・市民活動推進事業	事業期間	平成 23 年度～平成 年度		政策区分	地域の底力の向上 ～助け合い、支え合いにより豊かな地域生活の実現～
			施策区分	地域で共に支え合うまちづくり		
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	地域福祉推進室	評価者	地域福祉推進室長 大戸 英輔

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	少子・高齢化の進展や価値観の多様化等により、生活課題が多様化する中、地域住民をはじめボランティアやNPOなど、支え合う地域社会を担う多様な主体が不足している。	事業の目的	ボランティアリーダーや、より高い専門性を持った人材育成と、ボランティア活動への積極的な参加を促すことにより、ボランティア活動の拡大と活性化を図る。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
福祉ボランティア体験研修	福祉施設等においてボランティア体験研修を実施(1,426人)	・「ボランティアセンター」と「おおいたボランティア・NPOセンター」の窓口の一本化 ・ホームページによる事業募集、広報など各種情報の提供	総コスト	9,176	8,588	8,578
福祉ボランティア専門研修	多様なニーズに対応できるよう専門的な研修を実施(201人)		事業費	6,176	5,588	5,578
福祉ボランティアリーダー研修	ボランティア団体のリーダー養成研修を実施(28人)		(うち一般財源)			
ボランティアコーディネート	ボランティア登録(新規85件)・活動者紹介(新規65件) 委託先：大分県社会福祉協議会		人件費	3,000	3,000	3,000
			職員数(人)	0.30	0.30	0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	体験研修受講者数(人)	目標値	1,250	1,250	1,300		<b>a</b>	・県民のボランティア意識を高めるため、啓発等のさらなる推進 ・市町村社会福祉協議会をはじめ、ボランティア団体、NPO法人等の連携強化	
		実績値	1,296	1,426					
		達成率	103.7%	114.1%					
	専門研修受講者数(人)	目標値	100	100	150				
		実績値	180	201					
		達成率	180.0%	201.0%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	ボランティアセンターで把握するボランティア数(人)	目標値	39,800	40,300	40,800		<b>a</b>	体験研修では、学生を中心とした多くの県民参加により底辺の拡大が継続的に図られ、また専門研修では、各ボランティア団体等自らが、それぞれの専門性を強化・拡大する研修を企画・実践し、人材の養成を通じた体制及び能力の強化が図られた。	
		実績値	39,598	41,168					
		達成率	99.5%	102.2%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する福祉、地域ニーズ等の中、支え合う地域社会づくりを担うボランティア団体等を育成・強化</li> <li>ボランティア体験研修受講者が引き続きボランティア活動に結びつくよう、市町村社会福祉協議会やボランティア団体、NPO法人等との連携を強化し、ボランティアの底辺拡大を推進</li> </ul>				

事業名	ユニバーサルデザイン推進事業 (旧安心おでかけユニバーサルデザイン推進事業)		事業期間	平成 23 年度～平成 31 年度		政策区分	地域の底力の向上 ～助け合い、支え合いにより豊かな地域生活の実現～
				施策区分	地域で共に支え合うまちづくり		
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	地域福祉推進室		評価者	地域福祉推進室長 大戸 英輔

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	ユニバーサルデザインの概念について、県民に十分な広報啓発ができていない。また、ユニバーサルデザインに対する理解度の低さから、障がい者等の歩行困難者のために設置されている車いすマーク駐車場に健常者が駐車し、真に必要な人が駐車できない事態が生じている。	事業の目的	県民の共生意識と行動を喚起し、ユニバーサルデザインによる誰もが暮らしやすい社会を構築する。
-------	--	-------	---

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
UD体験空間の設置	ユニバーサルデザイン体験コーナーの設置(2箇所)	・設置場所の提供など民間事業者の主体的取組との連携	総コスト	27,130	7,872	10,098
UD出前授業の実施	児童生徒に対するUD出前授業(51校、2,947人)	・教育委員会、車いす利用者等当事者との連携	事業費	24,130	4,872	5,098
「あったか・はーと駐車場」利用証制度	あったか・はーと駐車場利用証の交付(2,719件)		(うち一般財源)	20,060	2,955	2,549
	あったか・はーと駐車場協力施設の拡大(139箇所)		人件費	3,000	3,000	5,000
			職員数(人)	0.30	0.30	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (31年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
あったか・はーと駐車場利用証交付枚数(枚)	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	<b>a</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>あったか・はーと駐車場利用証制度協力施設の拡大</li> <li>次世代を担う子どもたちに対する啓発の実施</li> </ul>	
	実績値	2,309	2,719						
	達成率	92.4%	108.8%						
出前学習講座(人)	目標値	2,900	2,900	3,000	3,000	<b>a</b>			
	実績値	2,990	2,923						
	達成率	103.1%	100.8%						

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (31年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
あったか・はーと駐車場協力施設数(施設数)(のべ数)	目標値	1,000	1,000	1,000	1,600	<b>a</b>		あったか・はーと駐車場協力施設数(のべ数)は、既に県の長期計画の27年度の目標数値を既にクリアしており、あったか・はーと駐車場の利用者の立場からも非常に便利になっている。	
	実績値	1,036	1,175						
	達成率	103.6%	117.5%						

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- あったか・はーと駐車場利用証制度協力施設の拡大に向けた事業者への働きかけの実施
- ユニバーサルデザイン出前授業の継続実施とともに、民間事業者の取組促進に向け、民間事業者を対象とした出前授業の実施拡大

事業名	高齢者・子育て世帯リフォーム支援事業（※旧おおいだ安心住まい改修支援事業）		事業期間	平成 26 年度～平成 28 年度		政策区分	地域の底力の向上～助け合い、支え合いによる豊かな地域生活の実現～	
						施策区分	地域で共に支え合うまちづくり	
総合評価	<b>B</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	建築住宅課		評価者	建築住宅課長 永松 洋	

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	少子高齢化が進行する中、高齢者や子育て世帯の安全・安心な暮らしを支える住まい・住環境づくりを推進しているが、県内には築後年数の経過した住宅が多く存在し、バリアフリー基準を満たしていない住宅も多いなど、住環境が整備されていない。	事業の目的	「安全・安心の住まいづくり」、「子育て満足度日本一」の政策実現を図るため、高齢者や子育て世帯が行う既存住宅の改修に対して支援を行う。
-------	---	-------	--

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
住宅の改修に対する支援	高齢者・子育て世帯リフォーム支援事業 住宅改修費補助（間接補助） 高齢者世帯が行うバリアフリー工事（58件） 子育て世帯が行う住環境の向上工事（37件）	・平成26年度に事業の見直し（補助率拡充、収入要件の緩和、対象工事の拡大）を実施 ・事業リーフレットの作成・配布による周知 ・リフォーム等事業者向け説明会の実施	総コスト	20,461	18,745	18,750
			事業費	13,461	11,745	11,750
			（うち一般財源）	13,461	11,745	11,750
			人件費	7,000	7,000	7,000
			職員数（人）	0.70	0.70	0.70

活動指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成（28年度）	評価	今後の課題
	事業者向け説明会開催回数（回）	目標値		4	4	4		
実績値			4	4				
達成率			100.0%	100.0%				
事業リーフレット配布枚数（枚）	目標値		4,000	5,000	5,000	5,000		
	実績値		4,000	4,500				
	達成率		100.0%	90.0%				

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成（28年度）	評価	事業の成果
	住宅改修工事（件）	目標値		530	115	115		
実績値			98	95				
達成率			18.5%	82.6%				

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・事業リーフレット等を活用した周知 ・リフォーム事業者向けに説明会を開催予定				



事業名	(公) 県営住宅整備事業	事業期間	平成	年度～平成	年度	政策区分	地域の底力の向上～助け合い、支え合いによる豊かな地域生活の実現～
			施策区分		地域で共に支え合うまちづくり		
		事業実施課(室)名	公営住宅室		評価者	公営住宅室長 宮本 吉朗	

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	高齢者の総人口に占める割合が年々増加する中、県営住宅においてもバリアフリー化が求められているが、バリアフリー化された住戸の割合が少ない。	事業の目的	県営住宅のバリアフリー化を推進する。
-------	--	-------	--------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
既設県営住宅改善事業	バリアフリー改善工事により既存住戸を改善(55戸)	・大分県公営住宅等長寿命化計画に基づき計画的改善を実施	総コスト	620,372	589,570	617,063
県営住宅建設事業	城南住宅北ブロック建替事業においてバリアフリー化されていない既存住宅の解体及び新築住棟の設計を実施		事業費	620,372	589,570	617,063
県営住宅建替等推進事業	建替事業に伴う入居者の移転費の補償		(うち一般財源)	58,363	113,902	2,752
			(うち繰越額)	225,588	215,882	81,291
			人件費			
		職員数(人)				

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	バリアフリー化された県営住宅の割合(%)	目標値	20	21	22		a	
実績値	20.0	21.4						
達成率	100.0%	101.9%						